

## 講 評

公募の結果、2事業者から提案があった。

最優秀と評価した事業者の提案は、都心近郊で静けさを感じ、おだやかな時間を過ごせる飲食施設、ガーデニングを学べるライブラリースペースなどを提供する計画となっており、諏訪山公園の特徴や周辺環境を考慮した内容であった。

登山支援拠点の整備に関しては、情報発信や物販コーナー、トレイルステーション神戸との連携により、気軽に登山を楽しむ環境づくりが期待できる内容であった。

花と緑の拠点の整備に関しては、施設全体にガーデンを配置するとともに、ボランティアがガーデンを活用した企画や実践例を展開・発信する取り組みを行うなど、新たな花と緑の拠点となることが期待できる内容だった。

公園整備に関しては、地域の生物相を活かすとともに景観に配慮した庭園を整備し、市民とともに管理することを通じ、引き続き地域住民から親しまれる憩いの場となることが期待できる内容であった。

一方で、資金調達が借入主体となっており、事業継続の担保について市と十分に協議する必要がある。また、施設の営業開始まで期間があるので、一部区画を先行して供用開始するなど、市民の興味や関心が薄れないための工夫を期待する。

次点となった事業者の提案は、独自性の高い飲食施設や、諏訪山エリアの歴史文化を継承したにぎわい施設の整備など、募集要領に沿った魅力的な内容であった。

しかしながら、都市公園内の施設であることの特性を活かし、ボランティアの参画や地域住民に開かれた活用により賑わいを創出するという点で、最優秀となった事業者が上回る内容であった。

令和7年8月5日

旧花と緑のまち推進センター活用事業者  
選定委員会